

令和7年度 府中町立府中中央小学校 研究構想図

学校教育目標
自ら伸びる

研究主題 「自ら伸びる意思」を形成する学びの創造
～協働的な学びと個別最適な学びの一体化をめざして～

研究仮説 授業において以下の3点を大切にすれば、教師も児童も「自ら伸びる」意思（主体性）が高まるであろう。

目指す児童の姿を明らかにして

- ① 座席表やルーブリックで児童の学びを多角的に捉え、学びを価値付けたり、支援したりする。児童同士のフィードバックを取り入れ学びの価値を共有する場を仕組む。
- ② 自己選択・自己決定で表現する場を仕組む。学びの主導権をもたせるために、自己選択・自己決定した理由をふり返る機会を設ける。
- ③ 「生きた言葉」で表現できるよう、問いや気付き、学びを共有し、深める場を仕組む。

